

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	建築学基礎演習Ⅱ	担当教員	建築学科教員		
学年学科	4 年 建築学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(D-2) 100%				
授業の目標と期待される効果： 建築学に対する留学生の理解を深める効果をもつ。建築の3つの分野である、構造・環境・計画（設計製図を含む）の授業内容に関する補助教材を用意し、説明とその演習により学修の深度を深める。		成績評価の方法： 課題・演習等の成果で評価する。			
① 計画・設計分野の理解が深まる ② 構造分野の理解が深まる ③ 環境分野の理解が深まる		達成度評価の基準： 下記における課題・演習等に対する成果の完成度が6割以上であること。 ① 計画・設計分野の理解が深まったか ② 構造分野の理解が深まったか ③ 環境分野の理解が深まったか			
授業の進め方とアドバイス： 同級生と一緒に受講している講義と平行してこの科目の講義/演習は進めていくので、担当教員の指示を受け、計画的に進めること。					
教科書および参考書： 特に教科書はなく、補助教材・適宜プリント等の資料を使用する。					
授業の概要と予定：前期					AL のレベル
第 1 回：前期の授業の進め方の説明と検討					
第 2 回：建築計画に関する演習 1					
第 3 回：設計製図に関する演習 1					C
第 4 回：地域都市計画に関する演習 1					
第 5 回：建築計画に関する演習 2					
第 6 回：設計製図に関する演習 2					C
第 7 回：地域都市計画に関する演習 2					
第 8 回：インテリア設計に関する演習 1					
第 9 回：インテリア設計に関する演習 2					C
第 10 回：インテリア設計に関する演習 3					C
第 11 回：構造力学に関する演習 1					
第 12 回：鉄骨構造に関する演習 1					
第 13 回：建築材料に関する演習					
第 14 回：構造力学に関する演習 2					
第 15 回：鉄骨構造に関する演習 2					

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：後期の授業の進め方の説明と検討	
第17回：環境工学に関する演習1	
第18回：建築設備に関する演習1	
第19回：環境工学に関する演習2	
第20回：建築設備に関する演習2	
第21回：構造力学に関する演習	
第22回：建築計画に関する演習3	
第23回：設計製図に関する演習3	C
第24回：地域都市計画に関する演習3	
第25回：構造力学に関する演習3	
第26回：建築材料に関する演習2	
第27回：構造力学に関する演習3	
第28回：鉄骨構造に関する演習3	
第29回：環境工学に関する演習3	
第30回：建築設備に関する演習3	